



地域猫活動の 推進について



日向保健所
衛生環境課衛生担当

地域猫とは…

野良猫で不妊去勢手術を施され、地域住民等により適切な給水・給餌・ふん尿の始末などを受け、一代限りで地域社会と共生するもの

地域猫活動とは…

地域住民の合意を得て、自治会又は町内会が主体となり、地域のルールに基づき、飼い主のいない猫(=野良猫)と共生しながら一代限りの命を全うさせてその数を減らしていくことを目的とする活動をいう

保健所では野良猫による、地域住民への危害や無秩序な繁殖等に起因する周辺的生活環境の悪化を防止するとともに、猫の殺処分頭数の減少を図り、人と動物が共生できる社会づくりに資することを目的として地域猫活動を推進している。

野良猫問題の現状



子猫が庭に住みついて困っている。
庭にふんをして困っている。
鳴き声がうるさい。
ゴミ置き場を荒らされる。
餌をやっている人がいて猫が増えている。

野良猫に関する苦情は
年間約350件ほど
寄せられている。

保健所では負傷した野良猫や単独で生きることのできない子猫は動物愛護法に基づき保護しているが、**それ以外の野良猫は保護できない**のが現状。

また、猫は繁殖能力の強い動物であるため、**繁殖させない**ことが野良猫問題解決には重要

1頭のメス猫が...



1年後には**20頭**以上



2年後には**80頭**以上



3年後には**2000頭**以上



★メス猫は生後4～12ヶ月で子猫を産めるようになり、年に2～4回出産し、1回に4～8頭の子猫を産みます

★犬も増える速度は遅いですが同様です。メス犬は生後6～9ヶ月で子犬を産めるようになり、年に約2回出産し、1回に5～10頭の子犬を産みます

地域猫活動の流れ

- ① 地域住民から保健所への苦情・相談
- ② 自治会長へ地域猫活動相談、推進団体紹介
- ③ 地域猫活動に関して地域住民の合意形成
- ④ 地域猫対象数など地域の状況把握
給餌場所、トイレ管理などのルール作り
- ⑤ 自治会長による申請、保健所による地域指定
- ⑥ 不妊去勢手術の実施、地区への返還
- ⑦ 地域住民等による地域猫の管理

地域住民が主体となって行う活動で、保健所は活動の支援を行っている。

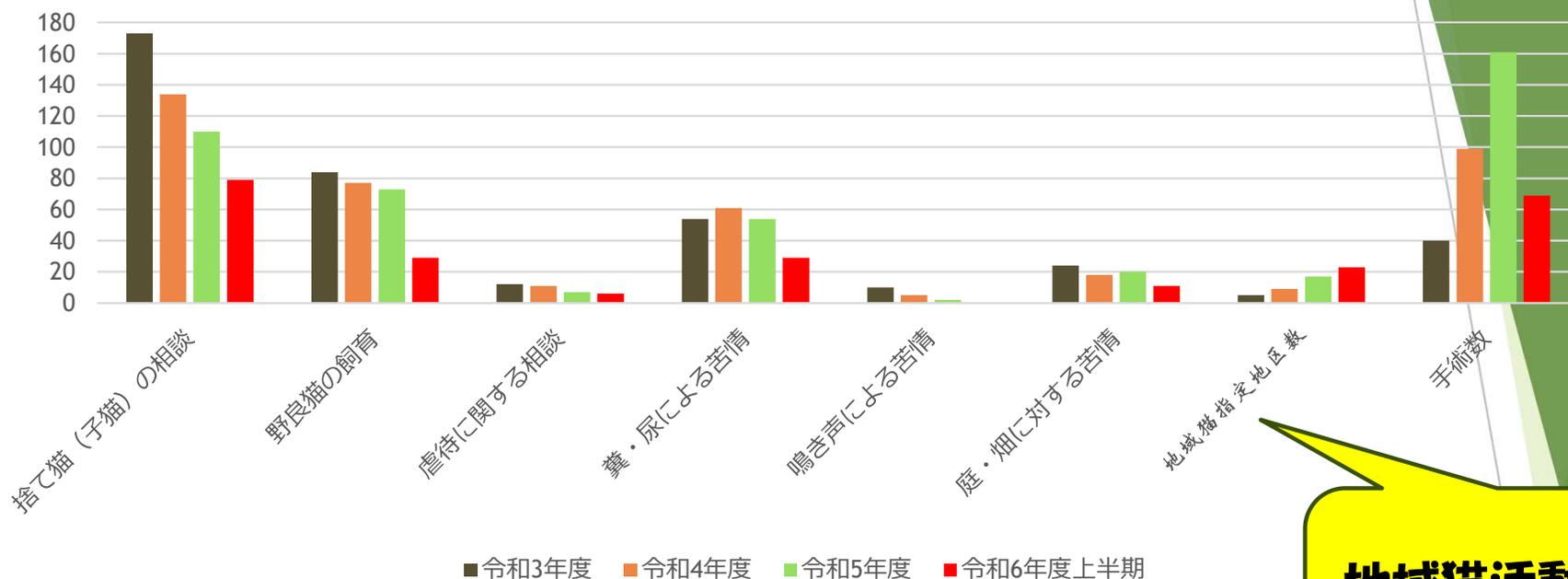


地域猫活動によるメリット

- 不妊去勢により、さかり(発情)の鳴き声がなくなるため、**苦情が減る**
- 猫の出産が無くなり、**野良猫が減少**する
- 不用意なえさやりが減少し、**生活環境が改善**される
- 地域ぐるみの活動であるため、**捨て猫の防止**が図れる

地域猫活動の効果

苦情件数と活動実績



**地域猫活動地区は
年々増加！**

【効果あり】

- ・捨て猫、野良猫の飼育(えさやり)、虐待の相談件数
- ・ふん尿、鳴き声の苦情件数

【効果なしまたは不明】

- ・庭、畑に対する苦情件数

地域猫活動の今後の課題と対策

【課題】

- 猫の平均寿命は約14年※といわれており、地域猫活動は長期間の地域住民の継続的な活動実施が不可欠 ※ペットフード協会全国犬猫飼育実態調査(R5)
- 指定地区外からの野良猫または捨て猫の流入により、指定地区でも野良猫が増加している地区がある
- 地域猫活動により生活環境の改善効果が期待できるが、飼い猫の放し飼いによる被害に別途対応する必要がある

【対策】

- 保健所の継続的な支援
- 必要に応じて不妊去勢手術の追加実施
- 飼い主への終生飼養の啓発や多頭飼育の改善支援
- 猫の遺棄多発現場パトロールの実施、注意喚起看板の設置
- 飼い主へ室内飼いや首輪等の身元表示の依頼

地域猫活動の推進に御理解
と御協力をお願いします

